

## 小野谷機工の2プラス1事業

## 50周年機にTPMS強化

小野谷機工株式会社は、昨年創業50周年を迎えた。昨年2月に創業者の三村義雄社主が逝去されたのを機に、三村昌之会長が代表取締役会長(CEO)に、三村健二社長が共同会長に、宇田公郎専務が代表取締役社長(CEO)に、左膳妥友常務が専務に就任する新体制がスタートした。コロナ禍の影響下で難しいかじ取りが求められる中、小野谷機工がこれから目指す方向性はどこなのか。宇田社長、左膳専務にお話を聞いた。(木本)

創業50周年おめでとうございませう。三村社主が逝去されています。三村社主が逝去されたのを機に、三村昌之会長が代表取締役会長(CEO)に、三村健二社長が共同会長に、宇田公郎専務が代表取締役社長(CEO)に、左膳妥友常務が専務に就任する新体制がスタートした。コロナ禍の影響下で難しいかじ取りが求められる中、小野谷機工がこれから目指す方向性はどこなのか。宇田社長、左膳専務にお話を聞いた。(木本)

宇田 10月に代表取締役社長(CEO)に就任いたしました。このCEOというのはですね、三村昌之会長、グループCEOですね。会長は小野谷機工を含めグループ各社の代表という形で、特に創業者の三村義雄社主が晩年、地域貢献活動に非常に熱心に取り組まれていて、公的な役職だけで30位ありました。商工会議所とか観光協会などで

宇田 要は非常に時代の変化が激しいですね。環境や車の変化、社会の高齢化。タイヤ整備を引き継いで活動していただきましょうということ。CEOの名前を付けておきます。健二会長は今回、社長から会長になられたんですけれども、共同会長という形です。社長時代に社員ファーストを経営の柱にされてこられたので、引き続きそういう視点から経営に参画していただくということ。健二会長

宇田 お客様のニーズの中には安全作業ということがまず第一にあります。今までより安全

宇田 お客様のニーズの中には安全作業ということがまず第一にあります。今までより安全

か作業する人が多様になってい

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

宇田 確かに大変です。ただ

た。過去、リーマンショックで

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思

宇田 確かかなり回復すると思





### 小野谷機工のタイヤサービスリフト

# エアパワーリフター「APL-3000」

小野谷機工はこのほど、新型のタイヤサービスリフト「エアパワーリフター APL-3000」を販売開始した。能力を3000キロにアップ、普通乗用車まで対応し、空気バネを4個に増やして安定性を向上。万が一、空気バネが損傷した場合でも、緊急下降操作バルブユニットで安全に下降できる。同社商品開発部・機器商品開発グループの武澤圭朗主任にお話を聞いた。(木本)

同社が展開しているため、空気バネを2個からタイヤサービスリフトと4個に増やすことにより、タイヤ交換のために、能力をこれまでの2倍にアップさせた。500キロから3000キロにアップさせ、普通乗用車も余裕でリフトアップさせることが可能になりました」と武澤主任は語る。

スロープは2段ステップ式となっており、低床車が乗り入れるときでも車両のバンプがスロープに干渉しない造りになっている。また、有効なホイールベースの長さを最大3420ミリまでとすることで、ロングホイールベース車両にも対応できる。

スロープのフロント部分分割式になっているのも工夫の一つ。奥行きが狭いピットで作業している店で使用する場合に、スロープの分割部分を取り外してしまえば、シャッターを閉める余裕ができる。使う場合はシャッターを開けた状態で分割したスロープを取り付けばOK。これまでAST2500を使って

APL-3000 と開発者の武澤圭朗主任

の時は延長アタッチメントの併用で対応する。低床車対応では、アタッチメントの受けの部分とスクリーンネジの改良で、前モデルより10ミリ低い140ミリまで対応可能

## 安全・安心作業の味方 充実機能満載でデビュー

ジャッキアップした場合、車両下部に足を入れると事故につながる。サイド部分に安全バーを設置することにより、事故を未然に防止する安全設計となっている。

他にも、使わない時のアタッチメントの収納スペース、ホイールナットなどを収納する小物入れも装備している。

そして、空気バネが経年劣化した場合、めったに起きないケースだが、タイヤがバーストするようになり、緊急ストッパーが作動するのを防ぐ構造

車重3000キロまで対応

また、空気バネを従来の品から4個に増やしたことで、能力の向上だけでなく、車両にかかる負荷も減少。設定空気圧を65kPaから40kPaに下げたことで耐久性を向上させた。

リフトはエアでリフトアップしたものを車の自重で降ろす構造だが、下降時に不用意に



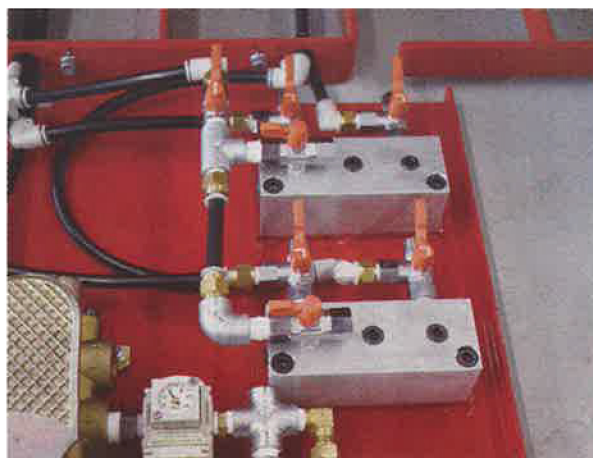
4個の空気バネで安定性向上



バランス確認用の水準器

降ろしてしまいました。こちらの作業だと危ないというので、バルブユニットの簡単な操作だけで車両の下降が可能になりました」と武澤主任。万が一の時も安全なだけでなく、安心して車両を降ろせる充実の機能である。

開発で大変だった部分について武澤主任は「能力向上と安全を両立させる部分でした。空気バネを4つにしたことでリフトアップした際の安定性に地上に降ろせない状態



トラブル時もバルブ操作で安全

を追求し、バルブユニットの開発ではいかに安全に降ろすかという部分で開発し、試行錯誤した結果、たどりの着きました。」

「APL-3000」。パワー向上と安定性、緊急時の安全性を兼ね備えた新モデルがデビューした。ショップにとって魅力的なモデルの登場と言えそう。納期は2週間。問い合わせは同社本社(0778-22-2124)または各営業所まで。

「APL-3000」は、これまで展開してきたAST2500という商品の後継モデルになります。昨今販売される乗用車は車両重量が重くなっており、そのた

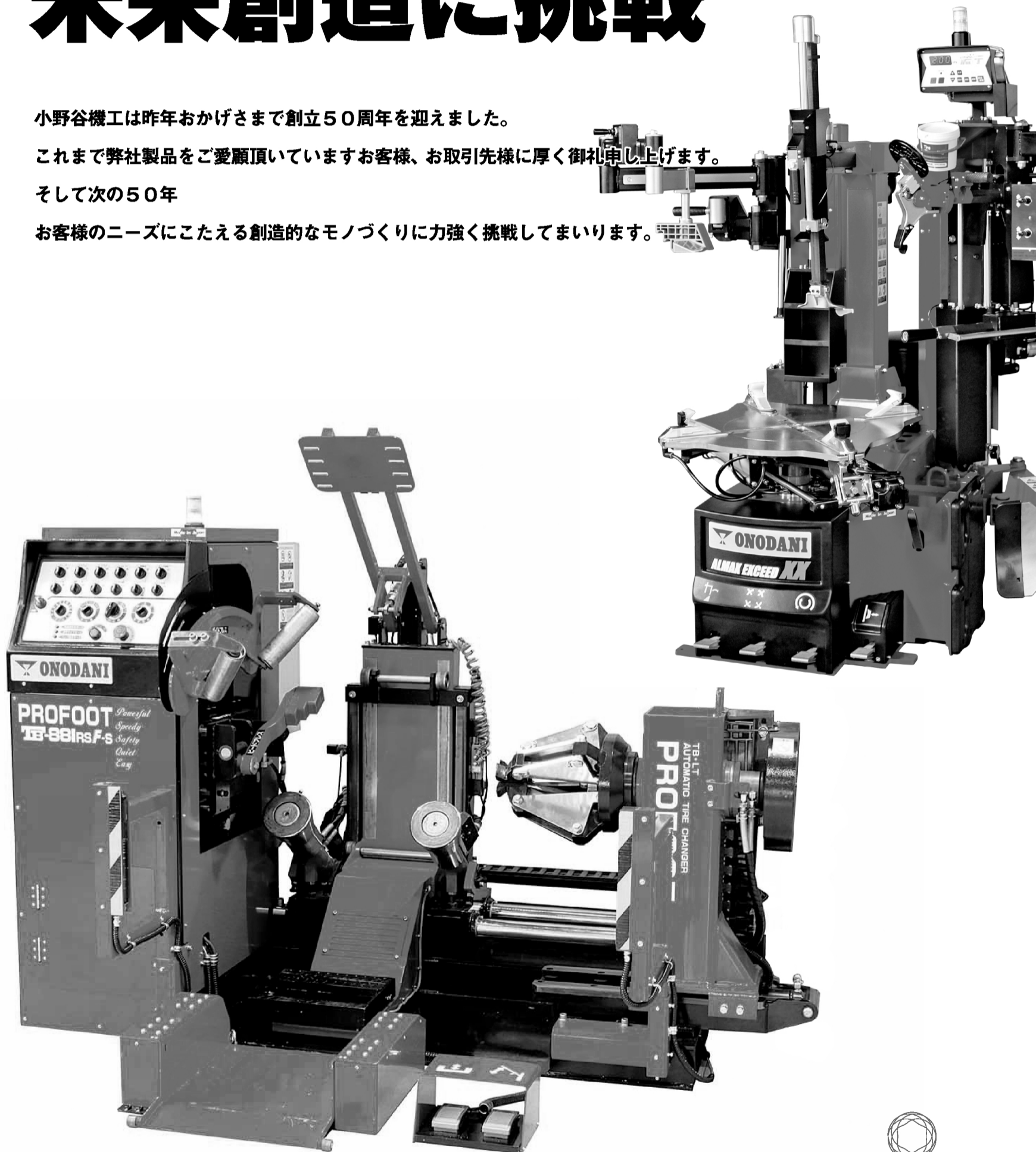
# 50年の感謝 未来創造に挑戦

小野谷機工は昨年おかげさまで創立50周年を迎えました。

これまで弊社製品をご愛顧頂いていますお客様、お取引先様に厚く御礼申し上げます。

そして次の50年

お客様のニーズにこたえる創造的なモノづくりに力強く挑戦してまいります。



地域未来牽引企業

**小野谷機工株式会社**

本社／福井県越前市家久町63-1 TEL.(0778)22-2124

札幌営業所 ☎(011)791-8588  
東京営業所 ☎(03)5970-6011  
福井営業所 ☎(0778)21-0335  
福岡営業所 ☎(092)582-6743

仙台営業所 ☎(022)255-7408  
新潟営業所 ☎(025)281-8251  
大阪営業所 ☎(06)6701-7315

秋田営業所 ☎(018)800-2556  
名古屋営業所 ☎(052)354-1021  
広島営業所 ☎(082)943-8455

